

2003 年度 委員会活動成果報告

(2004 年 3 月 30 日作成)

委員会名	建築教育制度小委員会	主 査 名：吉田 勝行
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築教育委員会	委員長名：西谷 章
設 置 期 間	平成 1 5 年 4 月 ~ 平成 1 8 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	我国の建築教育制度の現状を明らかにすると共に、国際的な建築家および建築技術者の資格制度とそれに対応する教育制度を明らかにし、我国の今後の建築教育制度の方向性を明確化する。	
委員構成 (委員名(所属))	吉田勝行(大阪大学)、上利益弘(アガリ・アソシエイツ)、阿部浩和(大阪大学)、稲葉武司(共立女子大学)、加藤道夫(東京大学)、河本順子(ARC)、斎藤公男(日本大学)、櫻井一弥(東北大学)、島田良一(東京都立大学)、白崎敬治(株アーキドリーム)、瀬口哲夫(名古屋市立大学大学院)、高橋純一(小山工業高等専門学校)、中島正愛(京都大学)、野崎勉(愛知工業専門学校)、山名善之(東京理科大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	WG 名称：教育と資格制度ワーキング 目 的：アンケート調査案の企画と実施、および収集結果の下整理を担当すると共に、最終報告書の編集を担当する。	
2003 年度予算	100,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	第 1 回 (7 月 3 1 日：e-mail 開催により全員参加) 第 2 回 (9 月 5 日・7 名) 第 3 回 (1 2 月 2 6 日：e-mail 開催により全員参加)
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) 1 . 大学院レベルの建築設計教育のあり方と現状に関するアンケート調査の様式を構成した。これにより、これまであまり明らかにされてこなかった大学院レベルの建築設計教育のあり方とその現状が明らかに出来るものと期待している。 2 . 建築教育制度に関わるポータルサイト http://www-dg.setc.wani.osaka-u.ac.jp/aij/shikaku/linksyu/aij.htm の維持管理を続け、建築教育制度に興味を持つ研究者、実務家に便宜を供与した。 3 . 2 0 0 4 年度大会教育部門建築教育委員会研究懇談会「建築教育の新しいパラダイム - 倫理教育を軸にした大学院修士を含む専門一貫教育の構築を目指して(仮称)」の計画案を構成した。
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) 本小委員会は、本年度がその設置第 1 年目に相当し、各国内教育機関に対し、建築教育の実態と資格制度の関連を明らかにするアンケート調査の実施と建築教育制度に関わるポータルサイトの維持が当初の計画であり、ほぼその当初の計画の 7 5 % を達成した。
その他評価すべき事項	アンケート調査の実施日程が次年度にずれ込んでいるが、当初計画にない 2 0 0 4 年度大会教育部門建築教育委員会研究懇談会の計画案を構成するという仕事の割り込みによる。